

～部活動を地域とともに～



「部活動の地域移行」に御協力ください。

与論町教育委員会事務局学務課
与論町地域部活動推進協議会

1 国における部活動の現状と今後

生徒の自主的、自発的な参加により行われる「部活動」は、責任感、連帯感、学習意欲の向上などに役立つものとして、学習指導要領に位置づけられている活動です。

しかし……,

部活動の運営は必ずしも教師が担う必要のない業務ですが、勤務を要しない休日の活動を含めた教師の献身的な勤務によって支えられており、そのことが、日本の中学校教師の長時間勤務の一要因となっていると言われています。

顧問の教師が異動することによって部活動の指導方針が変わったり、新しい顧問の競技経験の有無によって指導の専門性が左右されたりするという状況が全国各地で見られており、課題の一つとして挙げられています。

そこで、

これらの問題点を解決するために、国は、令和5年度以降、土日・祝日の部活動を学校の管理下から外し、「地域の指導者による地域のスポーツ活動・文化活動」にしていこうことを計画しています。

地域が休日の部活動を担うことによって、顧問の先生の長時間勤務が緩和されるとともに、顧問の先生の異動後も、地域の指導者によって指導の一貫性を保つことができると考えられています。(なお、地域移行後も、部活動の位置付けや枠組みは、これまでと同様に学校が主体となります。)

長時間勤務
の緩和



専門性と
持続性の向上

2 与論中学校での新たな取り組み

そのような中、与論町は、スポーツ庁と文化庁の指定を受け、与論中学校の部活動の地域移行を先行的に試すことになりました。具体的には、今年度8月以降、まずはサッカー部と吹奏楽部の休日の部活動を地域に移行し、町教委が委嘱した地域の指導者の方々に休日の部活動の指導をしていただきます。

その地域の指導者には、これまで「外部指導者」として生徒と関わってきた方々を委嘱しているので、生徒たちが大きく戸惑うことはないと考えています。しかし、これまでと違い、顧問の先生方が土日・祝日の部活動を指導する機会が減り、地域の指導者が単独で指導する場面が増えますので、そのことについては、生徒はもちろん保護者の皆様にも御理解いただきたく思います。

本号のまとめ



与論町では、与論中学校の部活動の地域移行がより良く進むよう、学校・地域・町教委の関係者から成る「与論町地域部活動推進協議会」を立ち上げ、必要な事項について協議を重ねているところです。

今後、先生方や生徒に対するアンケートも実施しながら、与論町の実態に合った形で地域移行を進めたいと考えておりますので、御協力をよろしくお願いいたします。

【お問い合わせ：教育委員会事務局学務課（兒玉）97-2441】